

広  
報

# とらべつ

3 2001  
3月1日発行  
No.570

発行 当別町  
編集 企画部企画課



子供ジャズダンス  
(あそ雪の広場・2月18日)

人口20,805人 (男性10,249人・女性10,556人) 7,702世帯 (11人・15世帯増/2月1日現在)

# 岡本 有真

(春日町)

私は、この研修に参加し、英語はもちろんですが、文化の違い、言葉の違う人とのコミュニケーションの取り方、考え方の違いなど多くのことを勉強して来ました。



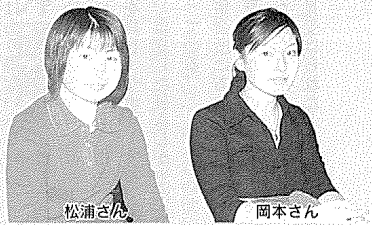
ホストファミリーと

# ホームステイ 研修レポート

期間：平成12年12月23日～平成13年1月13日(22日間)  
滞在先：アメリカ合衆国 カリフォルニア州 アデルラント市  
参加者：岡本有真さん、松浦千晶さん(共に高校2年生)

【当別町人材育成基金の活用推進事業】

# 高校生の 短期留学 語学



松浦さん

岡本さん

## 松浦 千晶

(西町)

ホストファミリーのこと

私のホストファミリーは、おばあちゃん(ホストマザー)と13歳の女の子、16歳と9歳の男の子という4人家族で、会った時からすぐに打ち



ホストファミリーと

お互いにわかるようになる努力で

特に一番教えられたことは、言葉が通じなくても、仲良くすることはできるし、コミュニケーションを図ることや助け合うこと、親切にすることなど沢山のことができるといいうことでした。

私が生活していてどうしても困った時、ポティランゲージ(身振り手振り)や絵や辞書を使って伝えようという努力をしました。ホストファミリーや地元の人も熱心に聞いてくれ、理解しようとしてくれました。そうすることで次第に心が通じ合っていけることを感じました。

楽しい思い出

一番楽しかったことは、ダンスパーティーとロサンゼルス観光です。ダンスパーティーは教会で行われ、16歳から18歳までの人しか参加



ダンスパーティーで



幼稚園にて

駆け合い、最後までずつと優しく、本当の家族の一員のように扱ってくださってうれしかったです。

ホストマザーは料理が上手で、毎日の食事が楽しくみえました。お別れの時は本当に悲しくて、マザーと泣いてしまいました。また、いつか会いに行きたいと思いました。

弱者に優しいアメリカ

私のホストマザーは足が少し不自由だったのですが、スーパーマーケットでは、電動の小さな車みたいなカートを運ばせて自由に買物をしていました。ほとんど全ての店の駐車場にはそのような身体障害者専用の駐車スペースがあり、便利でした。

日本でもこのような気配りが徹底すれば、高齢者や身体が不自由な人でも暮らしやすくなるのではないかと思います。



できないというものでした。

みんな、明るく陽気でアメリカのポップミュージックにのせて、夜の8時から11時までずつと踊り続けていました。そんな雰囲気の中で直ぐに地元の高校生と仲良くなることができました。

ロサンゼルス観光は、ロデオドライブやチャイニーズアターなど有名観光地を訪れました。映画などで見る風景がそこにあつてすごく感動しました。デイスニランドも楽しかったし、アメリカで「生」の英語に触れて、会話をすることなどどれをとっても面白かったです。

甘くてツライ食生活

アメリカの食生活は各家庭で大きく異なっていて、好みはつきりしていると思います。私のホストファミリーの家庭では、朝はパン、昼はパンとお菓子、夜はバスタと肉と野菜という食生活でした。

私が「ツライなあ」と感じたのは、パンを食べている時とチョコと飴、アイスクリームなど甘い食べ物がいっぱい出てくること。何をどう

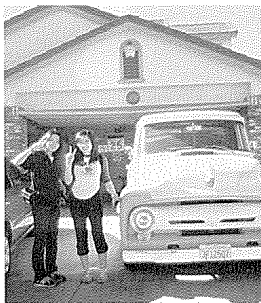
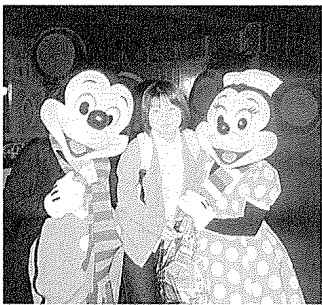


伝わらない……

私は、ほとんど英語を話せないのに3週間もホームステイに行ってしまう、ホストファミリーとの会話も単語を一つずつ並べるとか、ポティランゲージでかろうじて成り立っている状態でした。

そのため、本当に思ったことや考えたことなど、全てを伝えることができませんでした。

ファミリーで話している時も、なかなかその輪に入っていないけず、寂しい思いもしました。



もとにかく甘いということでした。

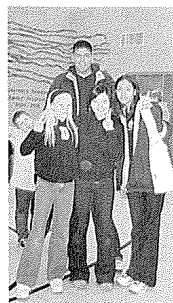
アメリカの食生活に期待してた私は、日本食がどんなにおいしいか、その時感じました。

大切な3週間

短い3週間の中で私は様々なことを経験しました。学んだこと、楽しかったこと、辛かったこと、驚いたこと、嬉しかったこと、悲しかったこと、沢山の感情がありました。

私にとってこれらの経験ができたことはすごく幸運なことです。

この機会を無駄にしないよう、これからも交流を続けていきたいと思っています。そして、より多くの英語を勉強し積極的に国際交流に参加し、町の行事等で成果を発揮したいと思います。



一生輝く「宝物」

将来、英語を使う仕事をしたとか強く思っていたわけではないのですが、今回、辛いことも経験し、世界の広さも少し実感して、今度はおつと多くの世界の人と自分の言葉で、直接話してみたいという意欲が湧いてきました。

私にとって、このアメリカでの3週間は宝物だし、一生忘れられない思い出になりました。

この研修事業に参加できたことを大変うれしく思っています。ありがとうございました。



後に続く方へ

ホームステイは、ただ言葉を学ぶだけではなく、その国のものを食べたり、いろいろな人に出会ったり、とても貴重な経験になります。

英語があまり好きじゃなくても、英語力に自信がなくても、行って後悔することは絶対ないです！

辛かったことも最後には懐かしくなっているものです。とにかく、ホームステイはいいですよ。

## 当別町海外研修事業報告書

昭和60年の国際青年年から始まった海外研修。この研修に参加したそれれの方が、見知らぬ人々や異なる歴史と文化に触れることで日常を見つめ直し、未来の夢を発展させるきっかけになっていくようです。  
 昨年10月4日から15日まで、北海道生涯学習海外研修に参加した2人から報告がありましたので、「一読ください。」

スウェーデン フランス

### 瑞典・仏蘭西―覚え書き

並川 睦(末広)



性も然り。

12日間の研修、おまけに初のヨーロッパとあって、期待と不安が入り混じった緊張の中での出発だった。スウェーデンの高齢者福祉

自分達のペースで一日一日、その時その時を過ごし、全ての入居者が、個人としての自由意思を尊重されているようだった。

この国では、寝たきり老人というものはあり得ないらしい。自分でできることがあれば自分でいい、助けが必要な時にはサービスハウスに勤務している人達が仕事として手を貸し、サポートする。あくまでも、自立した暮らしが生活の基本になっている。

共同集会所にあたるアパートのホールで見かけたどのご婦人も、きちんとした身なりでおしゃれを楽しむ余裕が見受けられた。もちろん、男



スウェーデンの高齢者施設にて

「時々寂しさを感じるが、子供たちの家に移り住もうとは思わない。でも、連絡は常に取り合いたい」とある老婦人が語った。子供との同居などは考えていないのは明らかだった。その言葉は個の確立がなされているが故に発せられたようにも思え、なにか私の胸に響くものがあった。

パリボランティアセンター  
 フランスではパリボランティアセンターの研修である。

ボランティアセンターは、ボランティア組織を支援するためのもので、パリにはこのようなセンターが12カ所ほどあり、フランス国内では60カ所くらいあるそうだ。

アソシアンオン(ボランティア協会のようなもの)を構成する運営委員のメンバーは、原則として無報酬のボランティアからなっていて、このセンターでは60名ほどが働いているという。

センターではボランティア募集を行ったり、登録しているボランティアに適當と思われる活動の紹介もしている。「ボランティアによる、ボランティアのためのボランティア仲介所」それはまるで日本の職業安定所を思い出させた。

センターとして使用している建物にかかる経費(家賃・光熱費・その他消耗品代など)は、センターの年間予算(20万フラン)約330万円から支払っている。教会からの支援がありそうにも思うが、いかなる宗教とも関わりは持たないことを原則にしていると強調していた。

ボランティアの概念としては、「全くの自由意思で、無私無欲に、地域のサービスに、組織された活動に、参加する人のこと」と考えられるだろう。最近、「地域社会に生かされている自分」を実感することもあり、今回の訪問を経て「少しでも地域のために役立つことを」との思いを強くした。

出会いから

今回の研修には、道内各地から総勢18名(最高齢74歳、最年少19歳の男女)の参加があった。

年齢も違えば参加目的もさまざま、研修だけでなく参加者との出会いも得難いものであった。

彼等と過ごす日々の中で、いくつになっても尽きない未知への興味、

何事にも突き進んで行く積極性とその行動力に圧倒された。

研修自体も勉強になることは多かったのだが、なによりも参加者の姿を通して「生涯学習」の「この世に生きている期間、学び習うこと」を目の当たりにしたことが一番の収穫だ

つたように思う。

このような研修への参加の機会を授かったことを幸運に思い、また、そのチャンスを与えてくださった町並びに関係機関の皆様感謝の意を表したい。

## 海外研修を終えて

平野拓央(獅子内)



私の参加目的は「知らない世界を見たい」ということで、気合を入れて研修に臨みました。

水の都

最初に訪れたスウェーデンのストックホルムでは、街並みの美しさに圧倒されました。景観を大切にしながら街づくりの為、新しい建物の高さや色が規制されており、歴史ある建築物や旧市街は何百年前からの美しさをそのまま保ち続けていました。そして、その全てを引き立たせているのが「水の都」と呼ばれるにふさわしい美しい水なのでした。古くから「北のベニス」と呼ばれたこの地の先人の、本物に負けたくないという意地が産み出した水の美しさに私は服膺するばかりでした。

気持ちさえあれば

スイス・ジュネーブでは教科書で見た国際機関が目の前にいくつも現

れる嬉しさにひたり、欧州一高い駅、ユングフラウヨッホで大自然のスケールの大きさに絶叫。

そして、スイス最後の夜をファミリーステイのあるザンクトガレンで過ごしました。ここで私は「言葉はなくても気持ちちは伝わる」という事を実感しました。

ファミリーステイ先の方は日本語は当然としても英語も全く話せませんでした。家族構成や年齢を知り合うだけで何時間もかかりましたが、絵や身振りでコミュニケーションを取るうちに、気持ちが伝わる嬉しさが湧き出てきました。

別れる時、私がたくさんのお気持ちを込めて言った「ダンケ(ありがとう)」の一言は彼等の心に伝わっていると思います。

スウェーデンに学ぶ  
 研修では、ストックホルムの高齢

者施設とパリのボランティアセンターを訪れ、色々な事を学びました。私が特に興味深く思ったストックホルムの高齢者施設について述べていきます。

スウェーデンは「ゆりかごから墓場まで」と言われるほど社会保障が行き届いており、この施設も市で運営するアパート形式のきれいな施設でした。270人ほどの入居者は、みんな自分の意思で入居を希望し、介護の必要度合いによって、それぞれ区分けされて暮らしています。アパート形式なので、家具などは全て自分で用意します。医者と看護婦が交代で常駐しており、入居者は安心して自分の趣味を楽しみながら生活しています。とても住みやすい施設だと思いました。

なぜ、このような高齢者福祉施設が充実しているのでしょうか。その答えは生活習慣と文化にあります。日本のように2世代、3世代同居という習慣が古くから無く、子供は高校を卒業すると独立して暮らすのが普通だそうです。何世代もが一緒に暮らすという習慣のない国では、高齢者福祉に力が注がれるのは当然の事なのです。

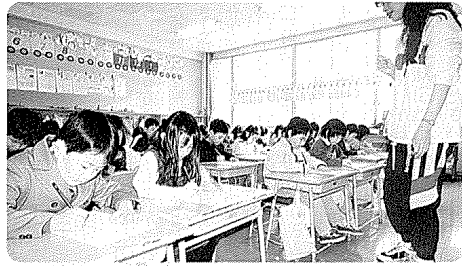
福祉が充実しているこの国の税金は高いですが、将来の為の貯金としての税金なのでしょう。日本も今後、高齢者福祉がより必



ストックホルムにて

## 当別小・西当別小で1日体験入学

当別小学校（山本陸男校長・児童数704名）と西当別小学校（工藤時恭校長・児童数723名）に入学する児童の「1日体験入学」が2月8日、両校で行われました。一足早く学校に慣れてもらおうなどと実施されたもので、児童は「ハイ」と元気な声で手を上げたり、配られた用紙に動物などの絵を描いたりしました。当別小では132人、西当別小では110人が入学予定で、いずれも入学式は4月6日。



## 当別高校生が除雪の奉仕

高齢者の独居住宅などを対象とした除雪奉仕に汗を流す当別高校生たち。今年は1月末から3月上旬まで5回実施され、この日は第1中央団地（北栄町）を中心に約60名が活動しました。連日の降雪に苦勞していたお年寄り達は、高校生の力強い応援に感謝していました。（2月16日）

## スッキリ濃い目にちよっぴり甘い 今年の当別産米酒

“当別米で酒造ろう会（佐藤彰代表）”の農家が生産した酒米を使い、醸造された日本酒「当別のお米でお酒ができた」の新酒発表会が田西会館で行われました。味と香りは去年よりも一段と味わい深く、淡麗辛口に仕上がったようです。会場には会員など約50人が集まり、2月から始まる4種の頒布を楽しみに“しぼりたて原酒”を試飲しました。（1月30日）



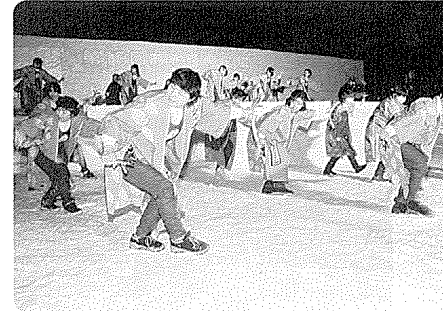
## 悪い鬼をやっつけろ！ 東保育所で節分会

保育士さんが扮した鬼に大きな声で「鬼はそー！」と落花生を投げつける東保育所の園児たち。病気や災害を鬼にたどえて追い払う豆まきの風習は、中国から伝来。「福豆」と言われる豆まきの豆は、来年まで福に恵まれるようにと自分の年より一つ多く食べます。ホールに現れた赤鬼・青鬼に“力いっぱい”豆を投げつけたり、ビックリして泣き出したりする園児たちで、大騒ぎの節分でした。（2月2日）



## 親子などでにぎわう 当別の雪まつり「あそ雪の広場」

当別の冬の祭典「あそ雪の広場」が2月17日と18日、阿蘇公園（元町）を会場に開かれました。同広場は実行委員会（泉亭俊徳委員長）の主催。17日には、当別太鼓・よさこいソーラン踊りが披露されたほか花火大会やビンゴゲームなどが行われ、18日には、シャンシャン馬そりの運行・スノーモビルの試乗体験や子供ジャズダンス・当別中学校の生徒による早食い競争などが行われました。今年の滑り台付き大雪像のキャラクターには、昨年10月に町の鳥に制定されたフクロウが選ばれ、会場では滑り台を滑り降りる子供達の歓声が上がっていました。また、“西暦を超える数の雪ダルマを町内に完成させよう”と昨年に引き続いて企画された「スノーマンファンタジー」には、53団体・63個人が参加。目標の2,001個は超えられなかったものの、合計1,355個の雪ダルマが町内に造られました。なお、今年の雪像コンクールでは、50点の応募作品の中から、「航空自衛隊」が製作した「白雪姫と森の仲間」が大賞に選ばれました。



まちの

# 話題

ZOOM UP  
ズームアップ

本誌に登載の写真を希望者に差し上げます。  
●申し込みは電話で、企画課広報広聴係 ☎3～3069へ。



# 年金 国保

# Q & A

**私の家族は現在国民健康保険に加入しています。来月から次男が本州の大学に入学することになりましたが、保険証は1枚しかありません。次男が病院にかかる時、保険証を送ったりしなければならぬのでしょうか。**

国民健康保険の保険証は、加入世帯に1枚だけ交付されます。ただし、次の方は申請すれば別に保険証が交付されます。**【修学中の方】**

修学のため、実家から離れて暮らしている方には、◎と表示された保険証を別個に受けることができます。手続きには学生証または在学証明書と国民健康保険証を持参ください。

**【二時的に住所を離れる方】**  
仕事の都合などで一時的に住所を離れて過ごす方には、◎と表示された保険証を別個に受けることができます。手続きには行き先の住所を確認のうえ、国民健康保険証を持参ください。

**■保険税の納期内納付にご協力**  
3月の国民健康保険税の納期は最終の第9期目となっています。国保税は、みなさんが病気がケガをしたときに医療費などに充てられる大切な財源です。いざというとき、安心して治療を受けられるよう国保税の納期内納付にご協力ください。

**■永住帰国された残留邦人の方に特例措置が取られています。**  
広報などを通してお知らせしていますが、永住帰国された中国残留邦人の方々を対象に、平成8年4月から国民年金の特例措置が取られています。

**■不審電話にご注意を!**  
最近、不審電話が連続して発生しています。こちらが社会保険事務所(事務局)ですが、コンピュータが故障したので、ご主人(お子さん)の勤務先の名前と電話番号を、そして携帯電話があればその番号も教えてください。こんな電話は要注意。

また、保険料を納付していない分、将来受ける年金額は通常納付されている方より低くなりますが、多い年金を受けるために保険料の追納期間が5年間に限り認められています。

## 年金

**■本年度の国民年金保険料が決定しました。**  
定額で1カ月1,300円  
付加保険料は1カ月400円  
なお、1年分の保険料を4月27日までまとめて納めると表のように割引され、納め忘れの解消にもなりますので、ぜひ、前納制度を利用してください。

区分	年金保険料	前納額	割引額
定額保険料	13,300円×12カ月 =159,600円	156,770円	2,830円
定額保険料 + 付加保険料	(13,300円+400円) ×12カ月 =164,400円	161,480円	2,920円

**役場窓口年金相談日**  
3月14日(水)、28日(水)  
4月4日(水)  
役場1階住民課国民年金係  
へお気軽にお越しください。  
**年金保険相談所の開設**  
主催 札幌北社会保険事務所  
日時 3月21日(水)  
10時~15時  
場所 商工会館(錦町)

**■当別町版の介護保険パンフレットができました。**  
介護保険制度のしくみや保険料、介護サービスの利用の仕方および町内のサービス提供事業所・施設一覧などが記載されているパンフレットを製作しました。パンフレット希望の方には、総合保健福祉センター(ゆとり)、役場総合窓口、太美出張所で配布しています。  
▼詳細 保健福祉課介護サービス係総合保健福祉センター(ゆとり)、内・西町☎333029

## 糖尿病にならないために

近年、生活習慣や社会環境の変化に伴い糖尿病にかかる人が急増しています。  
糖尿病の疑いがある方も含めると、全国では1,370万人いると推定されています。40歳以上の10人に1人が、糖尿病の疑いがあることになりました。



**糖尿病は、放っておくと腎臓・眼・神経に合併症を起し、さらには脳梗塞や心筋梗塞など生命に関わる恐ろしい病気です。**

**糖尿病の初期は、自覚症状がないまま進行するため、40歳を過ぎたら年一回は健康診査を受け、早期発見と予防を心がけましょう。**

**①食生活を見直し、**  
次の3点を気を付けましょう。  
食べ過ぎ、肥満は、糖尿病最大の危険要素です。野菜やキノコ類をたっぷりとり、バランスのよい食事を心がけましょう。また、ゆつくりよく噛み、腹八分目にするこやアルコール・間食の摂り過ぎにも注意することが大切です。

**②継続的な運動を心がける**  
適度な運動により、糖質をエネルギー源として消費させることも大切です。ウォーキング、ラジオ体操など、無理をせず継続できるものが効果的です。

**③ストレスをためない**  
ストレスがたまると、血糖や血糖を上昇させることになり、疲れを感じたら休息をとる、趣味・スポーツなどで自分なりの「ストレス解消法」を見つけてみましょう。

## 健診と相談

**マタニティスクール**  
【コース】  
テーマ 安産のための準備  
とき 3月16日(金)  
受付 12時50分~13時  
会場 ゆとり(西町)

**乳幼児健診**  
対象者には個別に通知します。  
【4カ月・10カ月児健診】  
とき 4月9日(月)  
受付 13時30分~14時30分  
会場 ゆとり(西町)

**【3歳児健診】**  
とき 3月23日(金)  
受付 13時30分~14時30分  
会場 西当別コモンセン(太美町)

**予防接種**  
【個別接種】  
対象 3カ月~90カ月未満  
【DPT】(ジフテリア、破傷風)  
対象 1~12歳  
【麻疹】  
対象 1歳~90カ月未満  
【風しん】  
対象 1歳~90カ月未満  
62年10月1日までに生まれた13歳以上、16歳未満の者(MMRワクチンの接種済み者、風しんにかかった方は除く)。

## 介護保険

私は、現在「介護保険料納付書」で介護保険料を納めています。  
**■必要予約の医療機関**  
●さわぎ医院 532055  
●堀江病院 233111  
●予約不要の医療機関  
●勤医協小川通診療所 330101  
●近藤医院 332021  
●スウェーデン通り内科循環器科クリニック 533151  
●とうべつ内科クリニック 231313  
●当別ファミリークリニック 634649  
●太美中央医院 632332

**集団接種**  
【A型肝炎検査BCG】  
対象 生後3カ月~48カ月未満児  
とき 3月13日(火)  
受付 13時~13時30分  
会場 ゆとり(西町)

**健康相談**  
とき 祝日を除く毎週月・水・金  
曜日水曜日は生活習慣病予防のための栄養相談が受けられます。  
時間 9時30分~13時30分  
会場 ゆとり(西町)

## 基本健康診査

40歳以上  
検診機関 町内の医療機関  
とき 診察日の午前中  
検査内容 血圧、心電図、尿検査、血液検査など  
料金 無料  
受診期限 3月末日中決済までまだ受診していない方は、早めに受診してください。

**リハビリ教室**  
対象 脳卒中などにより心身の機能が低下している方  
とき 3月14日(水)  
10時30分~14時30分  
会場 ゆとり(西町)

## 糖尿病にならないために

**糖原病は早期発見が決め手**  
糖原病の検査には、血糖検査・体重測定・尿糖検査などがあります。

**どうして糖尿病になるの?**  
食べ物の中に含まれる糖質は、身体の中でブドウ糖に変化します。ブドウ糖は脳や体を働かせる原動力となるのですが、すい臓から出る「インスリン」というホルモンの働きが弱まったり不足したりすると、ブドウ糖がエネルギー源としてうまく利用されなくなる「糖尿病」が発症してしまいます。

**【詳細】** 保健福祉課保健サービス係(ゆとり内・西町☎33346)

**【詳細】** 日中は保健所支所☎33214、夜間は工藤☎22510へ。

**【詳細】** 日中は保健所支所☎33214、夜間は工藤☎22510へ。

# お知らせ

タウン インフォメーション  
~Town Information~

役場 (代表 ☎3-2330 8時45分~17時15分)  
役場太美出張所 (☎6-3190 9時15分~16時45分)  
町政要望受信専用ファックス (☎5-5555)  
ホームページアドレス <http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/>

## 募集

**子どもプレイハウス(学童保育)の  
入所世帯と指導員を募集**

町教育委員会では、放課後などに児童を一時的に預かる子どもプレイハウス(学童保育)の入所世帯と指導員を募集します。

- ▼対象 小学1年生から3年生までの児童を持つ世帯で、共働きのための、放課後などに保護者が家庭に不在となる世帯。
- ▼開設場所 ①青少年センター(錦町) ②青少年会館(太美町) ③子どもハウス(緑町)東保育所隣りに開設予定
- ▼開設期間 4月7日~来年3月末日
- ▼開設時間 《学校登校日》 下校時から17時30分まで。 《春・夏・冬休み》 月曜日から

## 縦覧ください

**固定資産課税台帳**

固定資産課税台帳の縦覧を、3月1日から行います。

町内に土地・家屋・償却資産を所有している方は、この機会に確認願います。

- ▼縦覧期間 3月21日まで(土日曜を除く)
- ▼時間 8時45分~17時15分
- ▼場所 税務課課税係(役場1階 ☎3-2333)

## セミナー

**参加ください**  
**乳幼児子育てセミナー**

「子供が友達と上手に遊べない・叱り方がわからない」など悩んでいるお母さん。子育てについて一緒に考えてみませんか? お子さんを連れて、気軽に参加ください。

- ▼日時 3月22日(木)、10時30分~11時30分
- ▼期別運動 (4期・各10日間) ①春の交通安全運動 4/6(金)~4/15(日) ②夏の交通安全運動 7/6(金)~7/15(日) ③秋の交通安全運動 9/21(金)~9/30(日) ④冬の交通安全運動 11/16(金)~11/25(日)
- ▼特別運動 (キャンペーン) ①「道民交通安全の日」(毎月15日) ②「シートベルト・チャイルドシート着用推進キャンペーン」(7/6~7/15、9/21~9/30) ③「バイクの日」(8/19)

## 交通安全のワンポイント

決まりました  
今年の道交通安全運動推進方針

北海道交通安全総合対策本部(本部長=北海道知事)ではこのほど、平成13年の交通安全運動推進方針を次の通り決定しました。

▼年間スローガン 「『スピードダウンとシートベルト』2つのSで安全運転」

※このほか、地域・職域の交通安全事故実態に応じて交通安全運動を実施します。

交通事故の防止は365日のことですが、上記日程により期間を定めて運動を展開します。

住民の皆さんのご協力・ご理解をお願いします。

## 町内の交通事故発生状況

(1月対比・概数)

	平成13年	平成12年	増減数
発生件数	14	6	8
死者数	0	0	0
傷者数	19	6	13

金曜日までの8時30分から17時30分まで。

▼定員 ①は75名、②は50名、③は25名(定員を超えた場合、入会決定選考基準により決定)

▼費用 無料(父母会費として毎月のおやつ代月3,000円は実費負担)

▼入会申込 公民館・青少年会館にある申込用紙に必要事項を記入し、雇用証明書とともに提出ください。

▼提出期限 3月19日(月)

▼詳細 公民館 ☎3-2511

▼プレイハウスの指導者募集

▼募集人員 2名

▼報酬 月額 84,600円

▼採用月日 4月1日

▼勤務内容 留守家庭児童小学1~3年生の放課後保育をします。

▼勤務時間 12時から17時30分までの間で、1日4時間。

《春・夏・冬休み》 8時30分~17時30分までの間で、1日4時間。

▼提出書類 履歴書3カ月以内の撮影の写真(添付)

▼採用決定 直接応募者に通知

▼提出期限 3月19日(月)

▼提出先・詳細 公民館 ☎3-2511

## 保健

**受診期限は3月末日**  
**40歳以上の基本健康診査**

町が実施している「基本健康診査」

- ▼受付 10時10分
- ▼場所 西当別コミセン(太美町) 福留美子氏(心理相談員)
- ▼講師 福留美子氏(心理相談員)
- ▼(1)乳幼児期の育児の大切さ
- ▼(2)母子関係・友達関係 など
- ▼その他 託児希望者は、申し込み時に連絡ください。
- ▼申込・詳細 保健福祉課保健サ1ビス係保健婦(ゆとり) 内西町 ☎3-2346

## 保健

**女性は受診ください**  
**がん検診と高血圧・高脂血症検診**

町では、女性対象の子宮・乳・胃・肺・大腸がん、骨粗しょう症検診を実施します。電話か窓口で申し込みの上、受診ください。

▼対象 30歳以上の女性(胃がん検診は35歳以上、大腸がん検診は40歳以上)

▼受付会場と日程 ①4月10日(火)~総合保健福祉センター(ゆとり・西町)

検診名	対象	定員	検診内容	料金
子宮がん	30歳以上	70人	細胞診(必要者に体部がん検診)	1,000円(200円)
乳がん	30歳以上	50人	視診・触診(必要者にX線撮影・細胞診など)	400円
胃がん	35歳以上	70人	胸部X線撮影(必要者に略たん検査)	1,000円(無料(800円))
肺がん	16歳以上	70人	胸部X線撮影(必要者に略たん検査)	無料(800円)
大腸がん	40歳以上	20人	便の潜血反応検査(事前に検査セットを郵送します)	500円
骨粗しょう症	18歳以上	20人	X線による腕の骨密度測定	500円

## 衛生

**一部訂正があります**  
**ごみカレンダー**

平成13年ごみカレンダーの「ごみ分別一覧表」中、資源ごみの種類に誤りがありましたので訂正しお詫言します。

「資源の2升ビン」(正燃えないごみ/資源ごみ「アルミの鍋」 アルミだけでできたもの、アルミ以外の部品(プラスチック等、アルミ以外の金属)

「今年度の受診期限は、3月31日です。昨年度の4月以降、まだ受診されていない方は早目に受診ください。」

▼対象 40歳以上の町民

▼受診できる医療機関 (一)医師小川通診療所、近藤医院、スウェーデン通り内科循環器科クリニック、田園通りさわぎ医院、とうべつ内科クリニック、当別ファミリークリニック、太美中央医院、北海道医療大学南学部附属病院内科、堀江病院

▼時間 各医療機関の診療日の午前中

▼料金 無料

▼申込・詳細 事前に保健福祉課保健サ1ビス係(ゆとり) 内、西町 ☎3-2346へ。

## 保険



**家族ぐるみで加入を**  
**交通傷害保険**

を取り除いたものは、資源ごみとして収集されます。

※アルミ以外の部品が付いている鍋は、燃えないごみとして収集されます。

日付	駐在区名	受付時間
3月13日(火)	若葉 太美中央・南町・太美北・太美東・太美西・当別 太スウェーデンヒルズ・ヒトエ・高岡・獅子内 タイラエ・太美春 川下右岸・川下左岸	9時~9時45分
3月14日(水)	若葉 対雁 茂平沢・みどり野	9時~9時45分
3月15日(木)	若葉 川下会館 対雁会館 茂平沢会館 中小屋会館	11時20分~12時 9時~9時45分 10時~10時45分 11時10分~12時

満5千円から6カ月以上は12万円までの8段階に区分。

▼申込(加入方法など 保険料を持参の上、次の場所でも申し込みください。)

①保健福祉課福祉係(総合保健福祉センター) (ゆとり) 内

②住民課総合窓口(役場1階)

③太美出張所

④①②③の受付開始は3月1日から。ただし、②についてはできる限り8日(木)か9日(金)に申し込みください。

④出張受付の表の通り(当日都合の悪い対象駐在区の方は3月15日以降、①②③で申し込みください。)

農協の口座振替・補助利用者 保険料の支払方法として、北石符農協本所・西当別支所の口座振替や組織を利用する方は、3月16日(金)までに保健福祉課福祉係へ申し込みください。

▼詳細 保健福祉課福祉係(ゆとり) 内 ☎3-3019(内線222)

## 相談

**利用ください**  
**移動消費生活相談**

道では、消費生活に関する苦情・相談を受け付けます。

▼日時 3月15日(木)、11時30分~13時

▼場所 勤労者福祉センター(白樺町)

▼相談員 北海道消費生活センター相談員

▼その他 関係書類・契約書・領収書・パンフレットなどがありましたら、相談時に持参ください。

▼詳細 石狩支庁地域政策部環境生活課道民生活係 ☎011-231-5411(内線344・491)

## その他

**4月から変わります**  
**雇用保険制度**

産前産後などにより離職した者であるかにより、給付日数が異なる仕組みになります。

②雇用保険料率が0.0155(事業主負担分0.0095、被保険者負担分0.006)となり

③パートタイム労働者・登録型派遣労働者の適用基準が緩和されます。

④離職証明書等の様式が変わります。

①保健福祉課福祉係(総合保健福祉センター) (ゆとり) 内

②太美出張所

③①②の受付開始は3月1日から。ただし、②についてはできる限り8日(木)か9日(金)に申し込みください。

④出張受付の表の通り(当日都合の悪い対象駐在区の方は3月15日以降、①②③で申し込みください。)

農協の口座振替・補助利用者 保険料の支払方法として、北石符農協本所・西当別支所の口座振替や組織を利用する方は、3月16日(金)までに保健福祉課福祉係へ申し込みください。

▼詳細 保健福祉課福祉係(ゆとり) 内 ☎3-3019(内線222)

▼その他 育児休業給付・介護休業給付の給付率については、1月1日から40%になりました。

▼詳細 札幌北公共職業安定所 ☎011-743-8609

※適用関係については雇用保険適用課、給付関係については雇用保険給付課(いずれも内線230)へ。

▼その他 対象の戦傷病者は連絡を書状(銀杯を贈呈します)

厚生労働省では、対象の戦傷病者に内閣総理大臣名の書状と銀杯を贈呈しています。

▼対象者 平成12年4月1日以前に、旧軍人または旧準軍人としての公務上の傷病などに係る年金(恩給等)を受給したごときの方

①平成12年4月1日時点で、戦傷病者特別援護法による戦傷病者手帳の交付を受けている第1目症から第4目症の障害を有する方。

②平成12年4月2日から平成13年3月31日までの間に、新たに第1目症から第4目症の障害を有すると認められた方。

▼請求期限 3月末日

▼連絡先・詳細 保健福祉課福祉係(ゆとり) 内、西町 ☎3-3019

**講演** 対象者は参加ください  
精神保健福祉家族学習会

江別保健所当別支所では、主に精神分裂病で治療を受けている方のご家族を対象に学習会を開催します。

- 日時 3月28日(水)、13時30分～15時30分(受付は13時)
- 場所 江別保健所当別支所(緑町)
- 内容 「こころの病気を知って、家族の対応について考えよう」ビデオ学習・交流会
- 申込期限 3月23日(金)
- 申込・問合せ 同支所保健指導係(☎3-214)

**催事** 参加ください  
道民の森歩(3.21.1)

道民の森建設事務所では、冬の間閉園中の「道民の森」を会場に、道民の森を歩こうスキの集いを開きます。友人・知人を誘い合わせの上、多数参加ください。

- 対象 小学生以上(先着100名)
- 日程 3月24日(土)
- 場所 青山奥三番川(道民の森神居地区)
- コース サイクリングロード・町有牧野を利用した約5kmの林間周回コース
- 集合場所と集合時間 神居地区宿泊施設「やすらぎ棟」前広場

**募集** YOSAKOIの仲間募集  
ふとみ元風会

21世紀初のYOSAKOIソーラン祭り「ふとみ元風会けんふうかい」はデビューします。飛び跳ねたいあなた、新しい世紀に元気な風を起しませんか。「声かけ・旗振り」も募集しています。

- 対象 小学1年生以上
- 練習日 毎週火・金曜日、19時(希望により日中可)
- 練習場所 西当別コミセン(太美町など)
- 年会費 大人8,000円 子供6,000円
- その他 衣装・鳴子などは実費負担
- 申込・詳細 小川(☎6-3998)、外崎(☎6-3175)。

**セミナー** 受講ください  
町主催の労働セミナー

事業主・従業員・一般の方

- 日時 3月27日(火) 18時～20時
- 会場 勤労者福祉センター(白樺町)
- 講師とテーマ 木村浩一氏 北海道職業能力開発促進センター岩見沢分校専門役「21世紀へ向けての企業の能力開発」
- 受講料 無料
- 詳細 商工労政観光課(☎3-3129)

10時20分までに集合。(10時30分にスタート)

- 集合方法 駐車場の確保のため、できるだけマイカーなどで乗り合わせ願います。(道民の森建設事務所(西町)からマイクロスバスの運行を予定しています)
- 申込方法 電話かFAXで、住所・氏名・バス利用の有無を事務所に連絡の上、申し込みください。
- 申込期限 3月9日(金)
- 参加料 無料
- 用具 ワックスなどは各自で用意願います
- 昼食など 宿泊施設の食堂を開放し、豚汁有料を提供する予定です。着替え室もあります
- 保険など 当日、任意保険の加入を受け付けます
- 詳細 同建設事務所(☎2-2151/FAX2-0551)

**展示** ご覧ください  
有珠山噴火パネル展

町ボランティアセンターでは、有珠山噴火のパネル展を開きます。噴火から間もなく1年が経過し関心が薄れつつある中、未だ仮設住宅で避難生活を過ごしている方もいます。

ボランティア活動の現状や自然災害の実態を身近に感じていただくパネル展です。多数の方の来場をお待ちしています。

展示期間 3月5日(月)～20日(火)

展示会場 総合体育館(白樺町)と西当別コミセン(太美町)

- 詳細 町社会福祉協議会(☎2-2301)
- 内(☎2-2301)

**講座** 受講ください  
ボランティア講座

町ボランティアセンターでは、地域におけるボランティアリーダーの養成と地域福祉への関心を深めていただくため、ボランティア講座を開きます。

- 日時 3月16日(金)、19日(月)、10時～15時
- 場所 妙とろ(内西町)多目的ホール
- 講師とテーマ
- 3月16日 山口幸雄氏(災害救援ネットワーク北海道代表)「災害救援活動：あれから1年有珠山噴火現場からの声」
- 3月19日 荒木孝司氏(北海道社会福祉協議会・ボランティアセンター福祉教育専門委員)「主力はボランティア」
- 定員 30名
- 受講料 無料
- 申込期限 3月14日(水)
- 申込・詳細 町社会福祉協議会(☎2-2301)
- 内(☎2-2301)



火災と救急

**当別町の火災発生状況(平成12年)**

昨年の当別町の火災件数は14件(前年比で6件増)、損害額は2,728万円(前年比で約2,300万円増)でした。

り災者と死傷者については、6世帯16名が被災し、4名の死者が出ています。

火災状況では、建物火災が9件で全体の約6割強を占め、その内5件は「住宅」が火元となっています。

原因別では、「コンロ」の取り扱い不注意が2件で、以下「タバコ」等となっています。

火災の多くは、ちょっとした不注意で発生しています。家庭や職場等での火気の取り扱いや後始末には、十分注意してください。

また、建物の周囲を整理し施錠するなど、防火されにくい環境づくりをお願いします。

**救急出動状況(平成12年)**

当別消防署における平成12年中の救急出動件数は675件(前年比で16件減)、搬送人員は655人(前年比で29人減)でした。

事故種別では、急病が354件と一番多く、次に交通事故が17件と続いています。

また、救急隊が心肺蘇生法(心臓マッサージ・人工呼吸)を行った件数は20件(前年比で6件増)でしたが、その内9件が、救急車が到着するまでの間に家族などから応急手当を受けていました。

救急車が到着するまでの間、病气や事故などで心臓や呼吸が停止した傷病者に応急手当(心臓マッサージや人工呼吸)をすると、救命できる可能性が高くなりますので、適切な応急手当を身に付けておく必要があります。

当別消防署では、毎月第4日曜日の午後1時から、「普通救命講習(心肺蘇生法や止血法など)3時間、修了者には修了証を交付」を実施しています。

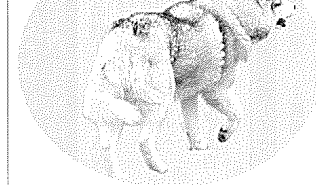
多くの方が受講され、応急手当の正しい知識・技能を習得されますようお願いいたします。

なお、過去に受講された方でも再講習として受講できます。気軽に申し込みください。

そのほか、各種団体・町内会などグループでの申し込み、講師派遣も行っています。

※詳細は消防署防課救急係(☎3-2537)

**犬の散歩時にはフンの後始末を**



最近、ペットとして様々な動物が飼われています。中でも犬や猫は、飼いやすい動物として幅広い世代で飼われています。特に犬は、忠実で理解し合える(心癒される)動物として、いつの時代も人間と共存してきました。しかし、飼い主のモラルのなさから犬・猫に関する苦情が多数寄せられています。

特に多いのが「放し飼い」に伴う苦情で、その一つはフンの害です。人間誰もが、犬や猫を好きだとは言えないのです。室内犬を早朝や夜間、外に放す方がいますが、他人の玄関前に排泄したフンの後始末は誰がするのでしょうか？

また、散歩時に犬の排泄物をそのまま放置する方がいますが、いずれも無責任な飼い主によるものです。

雪解けに伴い、隠れていたはずのフンが、雪の中から顔を出します。市街地や歩道、幼児子供達が遊ぶ公園等で顔を出し、気付かずに踏んでしまったりすると、誰もが不愉快な気持ちになるでしょう。放し飼いに関する苦情でもう一つ多いのが、歩行中に吠えられたり噛まれたなどの苦情や被害です。

このほか、通勤や就職シーズンなどの引越時に多いのが、「捨て犬」や「捨て猫」。

一度飼った犬や猫は終生、愛情と責任を持って飼ってほしいものです。

当別町では、犬について放し飼いなどを禁止する条例を定めています。

しかし、条例の有無を問わず、放し飼いをしないこと・フンを回収すること、生き物を飼うことで近所や街に住む人に迷惑をかけること、自分で飼っている可愛いペットのフンの後始末をすることは、飼い主であるあなたの当然で最低限の責任なのです。



種別	出動件数	%	搬送人員	%	不搬送件数
火災	13	1.9	1	0.1	12
自然災害	1	0.1			1
水難	4	0.6	1	0.1	3
交通事故	117	17.3	138	21.1	12
労働災害	11	1.6	10	1.5	1
運動競技	4	0.6	4	0.6	
一般負傷	84	12.5	81	12.4	3
加害	7	1.0	7	1.1	1
自損行病	8	1.2	7	1.1	1
急病	354	52.5	336	51.3	18
その他	72	10.7	70	10.7	3
合計	675	100	655	100	55

区分	火災件数	火災種別			損害額(千円)	死者
		建物	車両	その他		
1月	2	1	1	10,984	2	
3月	1	1		8,206		
4月	1	1	1	15		
5月	2	1	1	306	2	
6月	1		1	1		
7月	2	2		1,260		
9月	2	2		6,377		
12月	3	2	1	131		
合計	14	9	3	27,280	4	

※その他とは、転院搬送等または事故種別の分類不能(記障等)をいう。

※2・8・10・11月は火災なし。負傷者については年間なし。

本校は昭和22年、当別中学校の分校として中小屋小学校内で発足し、昭和27年には分校から独立。

# 輝く子どもたち 中小屋中学校

昭和53年には新校舎に移り、単校として22年が経ちました。平成8年の中小屋小学校全焼の時にはその後の約1年半、校舎の一部を小学校として使ってもらいました。

最高で100名の在校生を数えていた時期もありましたが、現在は3学級、15名の生徒が学んでいます。生徒の出入りもほとんど無く、小学校からほぼ同じ仲間仲間が良く、明るく素直な



子供たちが家庭的な雰囲気の中で学校生活を送っています。地域とともに開かれた学校づくりの観点から「地域と共にある学校」地域を支援する学校をめざし、色々な教育活動に取り組んでいます。

地域全体での大運動会、PTAと共に交通安全街頭指導や資源活用作戦、生徒会単独でJR駅清掃クリーン作戦やブルタブ収集など、隣接小学校との連携

設立以来の小学校との密接なつながりから、一体化したPTA活動、合同の学芸会・文化祭・スキップ学習・運動会など兄弟校としての関係を大切にしていきます。

新たな時代に対応して時代や社会の変化に対応できる能力の育成をめざし、弁別中との「交流学習」や平成14年実施の「総合学習」に備える試行、また、在日外国人を招いて「国際理解学習」にも取り組んでいます。

## 出生とお祝い

1月16日～2月14日届出分

### お祝い申し上げます

氏名	年齢	世帯主	住所
茂又 子ヨ	1歳	武男	緑町
田中アイ子	2歳	芳夫	弥生
森本 悟志	3歳	本人	川下通
山本 潔美	4歳	本人	東夷
菅村 和吉	5歳	本人	蔵岱
小原 昇一	6歳	本人	幸町
井上 昇一	7歳	本人	北栄町

### 町の指定店を追加

給水装置の工事事業者  
業者名 (前朝日管工)  
江別市朝日町3番地52・53  
115-3833 / 62264

### 木工教室で造ろう

- 木製時計
- 日程いすれか1日を選択
- 3月18日(日)・25日(日)
- 時間 ともに10時～16時
- 対象 小学生以上
- 会場 スウェーデン交流センター1F(スウェーデンビルズ)
- 受講料 3,000円(教材費込み)
- 講師 酒井浩慶氏(木工作家)
- 申込・詳細 同センター ☎623360

## おめでとう

### お祝い申し上げます

氏名	父	母	住所
山上 龍一	昇一	かおる	幸町
高橋 悠平	誠司	有理	獅子内
工藤 真夕	秀美	真美	栄町
前田 楓花	登治	清美	春日町
市川 晴也	秀彦	典子	川下通

### 募集しています

町の「行政改革推進委員会」委員の募集について、情報公開条例などの制度づくりや行政改革全般について検討していただく「行政改革推進委員会」の委員を募集しています。

この委員会は町長の諮問機関です。町政に関心のある方など、多数応募ください。

対象 町民または町内に通勤通学している20歳以上の男女

募集人数 5人

任期 1年間

申込方法 住所・氏名・生年月日・電話番号、簡単な履歴と学歴を記入した履歴書に、当別町の行政改革についての意見、考え方を4,000字程度にまとめていただく。郵送が持参で提出ください。

申込期限 3月15日(当日消印有効)

申込先・詳細 総務課総務係 ☎06-110292 白樺町58番地9 ☎323330

## 花のメッセージ



バラ科で別名コゴメバナ(小米花)とも呼ばれ、高さ約2mになる落葉木です。中国大陸が原産とされていますが、西日本の低山地の岩上にも自生しているのが見られるそうです。

花は3～4月に咲き、花数は多数で白く、その美しさからこの和名があり、古くから生け花の材料として親しまれています。

花言葉 愛らしさ・懸命・静かな思い

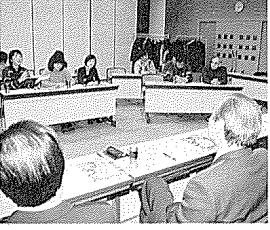
## ひろば

### 設立から40年 当別町商工会



商工会館(錦町)を会場に1月26日、「当別町商工会設立40周年記念式典」が開かれました。同会は昭和35年に設立。以来、中小企業の経営向上を図りながら、魅力ある商店街づくりや地域の特徴を活かした「まちづく

り」に寄与してきました。式典では、米口稔・現商工会会長が「40年を契機とし、会員とともに組織一体となり活力あるまちづくりを進めていきたい」と挨拶した後、3代目から5代目までの歴代会長や歴代役員などに感謝状が贈られました。



町長助役などが、まちづくりに関する意見・要望などをお聴きする「町政懇話会」が2月16日、

西町の総合保健福祉センター(ゆとり)で開かれました。今年度は、サッカー・剣道・ミニバスケットなどのスポーツ少年団の父母会が参加。学校やスポーツ活動に関することなどについて、貴重な意見が提言されました。

道の産業員貢献賞を受賞  
中小屋の庵

農地行政と地域農業振興に長年にわたる貢献された  
り貢献された  
農義隆さん

(中小屋・66歳)が2月9日、道の産業員貢献賞(農業関係功労者)を受賞しました。

庵さんは昭和59年7月、公選により町農業委員会農業委員に当選。以来、連続して6期務められ、現在は町農業委員会農政委員会副委員長として尽力されています。

## 正々フタコ



## 内科系 急病当番医

3月						
1 近	2 堀	3 ス	4 太	5 勤	6 堀	7 堀
8 と	9 堀	10 近	11 堀	12 ス	13 太	14 勤
15 堀	16 堀	17 さ	18 堀	19 近	20 堀	21 ス
22 太	23 勤	24 堀	25 堀	26 さ	27 と	28 近
29 堀	30 ス	31 太				

4月						
① 堀	2 勤	3 ス	4 と	5 近	6 堀	7 堀
⑧ 太	9 堀	10 さ	11 近	12 ス	13 と	14 近

- 日 19時～7時  
土 14時～17時と19時～7時  
日 9時～17時と19時～7時
- 協 協 協 協  
医 医 医 医  
院 院 院 院  
近 藤 藤 藤 藤  
さ わ ざ ざ ざ  
わ ざ ざ ざ ざ  
さ わ ざ ざ ざ  
わ ざ ざ ざ ざ  
さ わ ざ ざ ざ  
わ ざ ざ ざ ざ
- 錦町(☎3-3010)  
栄町(☎3-2021)  
西町(☎2-1313)  
太美南(☎6-2332)  
樺戸(☎2-3111)  
太美町(☎5-3151)

### 社会福祉事業へ



寄付 ありがとうございます

▲町総合保健福祉センターへ  
▲高橋健一さん(西町)から額入り風景写真2点 ▲中屋サダ子さん(白樺町)から掛け時計  
▲町文化センター建設基金へ  
▲茂又武男さん(緑町)から10万円  
▲町社会福祉協議会へ  
▲佐藤ミヨ子さん(西町)から5万円  
▲金子景次郎さん(太美町)から10万円

▲田中龍義さん(弥生)から5万円 ▲茂又武男さん(緑町)から10万円 ▲菅村和弘さん(蔵岱)から5万円 ▲木原ミヨ子さん(東夷)から5,000円 ▲全久寺婦人会(白井斐子会長)から寒修行の浄財の一部として20万円 ▲高木芳夫さん(六軒町)からビデオテープ404本 ▲匿名の方からタオル106枚

### 来場ください

- ▲講師は、テレビなどで活躍中の宮脇淳さんです。
- ▼日時 3月9日(金)・18時・20時
- ▼場所 商工会館(錦町)
- ▼テーマ 「21世紀の経済構造と景気問題」
- ▼講師 宮脇淳氏(北海道大学大学院法学研究科法学部教授)
- ▼申込・詳細 商工会 ☎32447





黒田 揚子さん (JA北いしかり本所勤務・27歳)

昨年5月に開かれた「第1回日米女子野球大会」で、全日本チームの4番で捕手として活躍。

12月には、国際大会(4カ国が参加・今年7月にカナダで開催)の全日本メンバーに選出される。女子軟式野球チーム「札幌シエールズ」在籍。当別高校卒で、JA北いしかり本所勤務。

## いまを生きる

## 編集後記



■今年も、元町の阿蘇公園を会場に「あそびの広場」が開かれました。毎年写真を撮りに出かける、大雪像の滑り台を、キヤー・ヒヤー。などと叫びながら、3・4人で連なつて降りてきたり、スライディングの格好で降りてきたりする子供を見かけます。

その姿を見ると、なんて楽しそうなんだろう。と思つてしまいます。一方、スノーボードに出かけたとき、ときおり尻の下にボードを敷いて緩斜面を滑降してしまふ私。恥ずかしい反面、これが結構楽しい。そんな私は、なんて幼いんだろう。

■3月、春はそこまで来ています。春の和菓子といえは「桜餅」ですが、桜餅には古い歴史がありました。約280年前の享保2年(1717年)、江戸の向島、山本新六氏が隅田川堤の桜葉を塩付けし、あんこ餅をくんで新発売。これが歴民の間で大人気となり、以来、名跡長命寺や堤の桜と共に向島の名物となつたそうです。

「発祥の地の桜餅をせむ」というわけでいろいろ調べて、電話。すると「申し訳ないです。生菓子なので発送できないですよ。ご米店の上お求めをどの返事が返つてきました。季節にかかわらず、旬のものほど、とんどが年中真られる時代ですが、その時、その場所であれば味わえないものは今や貴重な存在です。以前から「孟宗竹の竹の子餅り試食ツアー」の計画を撮っていたのですが、「向島の桜もちツアー」も乗りみな宿題の一つになりました。

「ママさんチーム」でソフトをしていた母の勧めで、小学3年の時から姉と一緒に始めたんです」とソフトボールを始め、かけ話を話す黒田揚子さん。

小中学・高校・社会人とソフトボールを続けてきた黒田さんは、当別高校時代にソフトボール部でインターハイ・ベスト8、団体には4回出場しています。

しかし、職場のソフトボール部が廃部になつたこともあり、4年前には女子軟式野球チーム「札幌シエールズ」(札幌市)に加入。ソフトボールで培った力を野球で発揮しています。

「私は捕手なんですけど、野球には多様な変化球や緩急があるので、いかにピッチャーをリードし試合を組み立てていくかなど、奥の深さ」に魅力を感じますね」と笑顔で話します。

そんな黒田さんは昨年5月、西武ドームで開かれた「第1回日米女子野球大会(硬式)」の全日本チーム村上雅博監督・21人の捕手として出場。試合では、スタメン4番に抜擢され、一死

満塁の場面で逆転となる決勝打を放つなど、4打数2安打3打点の活躍で日本を勝利に導きました。

「満塁の場面では、初球から思いきりいこうと考えていました。かなり緊張してはいたんですが、適時打を放つことができて嬉しかったですね」と続けます。

また、黒田さんは昨年12月、アメリカ・カナダ・オーストラリア・日本が出場する「国際大会」(7月にカナダのトロントで開催・硬式)の全日本代表として、北海道でただ一人選出されています。

「前回以上の活躍ができるよう、ベストを尽くして力を出しきりたいです」と意気込む黒田さん。8月には、女子軟式野球の全日本選手権も控えています。

「何年かかわかりませんが、海外でいろいろと野球を見て経験し、日本では少ない子供達と女子野球チームを結成・指導していきたいです」と夢が大きく膨らみます。